

分野	専門基礎分野 －疾病の成り立ちと回復促進－	対象学年	1
		時期	後期
授業科目	薬理学 Pharmacology	単位	1
		時間	30
		方法	講義
担当教員	始業後、担当教員一覧および授業ガイダンスにて確認		
科目責任者	担当者複数の場合は、担当教員一覧にて確認		
授業概要	疾病への治療には様々な薬物が用いられる。個々の患者に応じた薬物治療の目的と作用を理解し、その治療の有効性と安全性を最大限に高めるための基本的知識を学ぶ。		
目標	各薬剤の特徴を理解し、薬物療法における看護師の役割を理解する 1. 薬物の作用機序について理解する。 2. 薬物療法に影響を与える因子について理解する。 3. 薬剤の薬理作用、副作用について理解する。 4. ライフステージに応じた薬物療法について理解する。		
評価方法	終講試験 100点		
使用テキスト	系統看護学講座 薬理学「疾病のなりたちと回復の促進 3」 著者代表：大鹿 英世 医学書院		
参考図書			
メッセージ	単に薬理学として捉えるのではなく、人体の機能や病態などと関連付けて学ぶことで看護に必要な薬物療法の知識を身に付けてほしいと思います。		

回数	単元・主題	授業のねらい	授業内容	方法	備考
1	薬理学総論	薬物療法の目的、作用について理解する	薬理学総論（1）	講義	
2	薬理学総論	薬物療法の目的、作用について理解する	薬理学総論（2）	講義	
3	循環器	心臓・血管系に作用する薬物について理解する	心臓・血管系に作用する薬物	講義	
4	呼吸器	呼吸器系に作用する薬物について理解する	呼吸器系に作用する薬物	講義	
5	抗感染症薬	抗感染症薬について理解する	抗感染症薬	講義	
6	抗がん薬	抗がん薬について理解する	抗がん薬	講義	
7	免疫治療薬	免疫治療薬について理解する	免疫治療薬	講義	
8	抗アレルギー薬・抗炎症薬	抗アレルギー薬・抗炎症薬について理解する	抗アレルギー薬・抗炎症薬	講義	
9	末梢神経	自律神経系に作用する薬物について理解する	末梢での神経活動に作用する薬物（1）	講義	
10	末梢神経	自律神経系・中枢神経に作用する薬物について理解する	末梢での神経活動に作用する薬物（2） 中枢神経に作用する薬物（1）	講義	
11	中枢神経	中枢神経に作用する薬物について理解する	中枢神経に作用する薬物（2）	講義	
12	中枢神経	中枢神経に作用する薬物について理解する	中枢神経に作用する薬物（2）	講義	
13	薬物代謝	物質代謝に作用する薬物について理解する	物質代謝に作用する薬物	講義	

専門基礎分野

14	皮膚科・眼科・ 救急時の薬剤・ 漢方・消毒	皮膚科・眼科・救急時に使用され る薬物、漢方薬、消毒薬について 理解する	皮膚科用薬・眼科用薬、救急の際に使用される 薬物、漢方薬、消毒薬	講義	
15			終講試験		